# 球領域および円盤領域での 1 次元拡散型方程式の解析解

## 竹広真一

## 平成 19 年 12 月 31 日

この文章では、チェビシェフ関数展開を利用した球および円盤領域の動径方向 1 次元計算のための SPMODEL ライブラリ (spml) のモジュール au\_module のテストのために、球および円筒領域での動径 1 次元拡散型方程式のさまざまな境界条件に対する解を (できるだけ) 解析的に求めることを行う.

## 1 球領域の動径 1 次元拡散問題

半径 a の球領域での拡散問題を考える. 支配方程式は

$$\frac{\partial \phi}{\partial t} = \kappa \frac{1}{r^2} \frac{\partial}{\partial r} \left( r^2 \frac{\partial \phi}{\partial r} \right). \tag{1}$$

 $r(0 \le r \le a)$  は動径座標,  $\kappa$  は拡散率 (正数) である.  $\phi(r,t)$  は拡散する物理量であり, 例えば温度, 組成濃度, 磁場などである.

#### 1.1 一般解

時間に関して指数型の解を仮定し、

$$\phi(r,t) = \tilde{\phi}(r)e^{\sigma t} \tag{2}$$

これを支配方程式に代入すると、

$$\sigma\tilde{\phi} = \kappa \frac{1}{r^2} \frac{d}{dr} \left( r^2 \frac{d\tilde{\phi}}{dr} \right). \tag{3}$$

これをを変形すると

$$\frac{1}{r^2}\frac{d}{dr}\left(r^2\frac{d\tilde{\phi}}{dr}\right) + \frac{-\sigma}{\kappa}\tilde{\phi},$$

さらに動径座標を

$$\tilde{r} = \sqrt{\frac{-\sigma}{\kappa}}r, \quad r = \sqrt{\frac{\kappa}{-\sigma}}\tilde{r},$$
 (4)

と変形すると.

$$\frac{1}{\tilde{r}^2}\frac{d}{d\tilde{r}}\left(\tilde{r}^2\frac{d\tilde{\phi}}{d\tilde{r}}\right)+\tilde{\phi}=0.$$

この微分方程式は 0 次の球ベッセルの微分方程式であり、その一般解は 0 次の球ベッセル函数  $\mathcal{J}_0(\tilde{r})$ ,  $\mathcal{N}_0(\tilde{r})$  の線形結合として表される.

### 1.2 ディリクレ境界条件の場合

境界条件は、原点 r=0 で特異性がなく、外側境界 r=a でディリクレ条件  $\tilde{\phi}=0$  を考えることにする $^1$ . 原点の境界条件から

$$\tilde{\phi} = A\mathcal{J}_0(\tilde{r}) = A \frac{\sin \tilde{r}}{\tilde{r}} \tag{5}$$

r=a の境界条件から

$$\tilde{a} = \sqrt{\frac{-\sigma}{\kappa}} a = n\pi, \quad n = 1, 2, \dots$$
 (6)

すなわち.

$$\sigma = -\frac{\kappa}{a^2} n^2 \pi^2, \quad n = 1, 2, \dots \tag{7}$$

よって解は

$$\phi = \sum_{n=1}^{\infty} A_n \mathcal{J}_0(\frac{n\pi}{a}r) \exp(-\frac{\kappa}{a^2}n^2\pi^2t). = \sum_{n=1}^{\infty} A_n \frac{\sin(\frac{n\pi}{a}r)}{\frac{n\pi}{a}r} \exp(-\frac{\kappa}{a^2}n^2\pi^2t).$$
 (8)

係数  $A_n$  は初期条件からさだまる.

 $<sup>^1-</sup>$ 般的には、ディリクレ条件だと  $\tilde{\phi}=A$ 、しかしながら、ディリクレ条件の場合は定数部分を  $\tilde{\phi}=A+\tilde{\phi}'$  と分離できるので結局値が 0 に対する解を解けば良いことになる.ノイマン条件の場合は…

### 1.3 ノイマン境界条件の場合

境界条件は、原点 r=0 で特異性がなく、外側境界 r=a でノイマン条件  $\frac{d\tilde{\phi}}{dr}=0$  を考えることにする $^2$ . 原点の境界条件から

$$\tilde{\phi} = A\mathcal{J}_0(\tilde{r}) = A \frac{\sin \tilde{r}}{\tilde{r}},\tag{9}$$

r=a の境界条件から

$$\frac{d\tilde{\phi}}{dr} = A\mathcal{J}_0'(\tilde{r}) = A\frac{\tilde{r}\cos\tilde{r} - \sin\tilde{r}}{\tilde{r}^2} = 0,$$

したがって

$$\tilde{a}\cos\tilde{a} - \sin\tilde{a} = 0. \tag{10}$$

 $x\cos x - \sin x = 0$  の解を  $\alpha_n$  と求まったとすると、

$$\sqrt{\frac{-\sigma}{\kappa}}a = \alpha_n, \quad \sqrt{\frac{-\sigma}{\kappa}} = \frac{\alpha_n}{a}, \quad \sigma = -\kappa \frac{\alpha_n^2}{a^2},$$

$$\phi = A_n \frac{\sin \frac{\alpha_n r}{a}}{\frac{\alpha_n r}{a}} \exp\left(-\kappa \frac{\alpha_n^2}{a^2}t\right)$$
(11)

 $<sup>^{2}</sup>$ 一般的なノイマン条件だと  $rac{d ilde{\phi}}{dr}=A.$